

# 駅前周辺での 人の流れを取り戻すべき



堀内 隆弘 議員

**質 堀内議員**  
海部病院移転にあたり、駅前周辺での人の流れが大きく変わっている。予想以上のスピードで小売店などに影響が出始めているが、移転計画時に予想できなかったのか。平成24年度の産業大分類別の売り上げを見ると、卸売業・小売業の割合は最も高い56%となっており、牟岐町の産業では重要な分野である。教育や観光など、さまざまな取り組みが行われているが、結果が出る前に事業所が激減、もしくは、他町へ移転するかどうか。雇用の流出だけではない。

く、産業への影響も大きく響くことが予想される。もちろん、各事業所の努力も必要だが、大きすぎる変化には対応策も限界がある。役場移転も検討されるなか、重要で交流人口も多い施設などの変化は、経済への影響も材料に議論を進めなければ良からぬ影響がでる可能性を含んでいる。将来のための取り組みも必要であるが、既存の産業に影響が出ている中、優先順位の高い問題だと考えるが、どのような見解か。

**答 福井町長**  
駅前地区への影響も当初から危惧されており、県への検討委員会の設置や県部の移転もお願いしていたが、まずは町の要望を出してほしいとのことで現在に至っている。いずれにしても、旧海部

病院が空き家ですらいつでもできる限り取り組みを進めたいと考えている。

## 改築・改修施設の運用計画は

**質 堀内議員**  
改修された施設は計画どおり運用されていると思えないが、当初の計画どおり使用されているのか。また、今回説明のあった町民センターも、当初の改築予定から、わずか数か月で改修計画へ変更されたが、少し計画があまいと感じる。

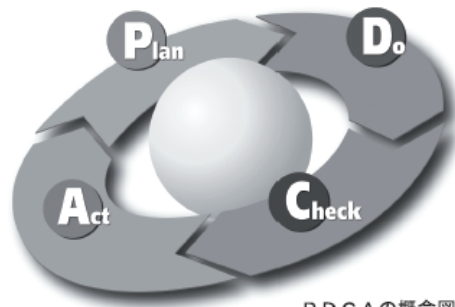


牟岐町民センター

**答 福井町長**  
通常の「PDCA」と違い、計画段階が最も重要であると考え、使用期間の予想に基づき、中・長期的に計画されているのか。

だいたい当初の計画どおり使用できていると考える。町民センターの計画変更は、計画があまいと指摘もやむを得ないと思われる。しかしながら国の補助・助成制度も毎年のように改正が行われており、今回のケースもその過度期のものであると思われる。

改修も長寿命化を含めた事業として実施すれば過疎債の適用が可能とのことで、国にも確認の上、財政負担の少ない改修で対応することとした。



PDCAの概念図

※ PDCA  
[plan (立案・計画), do (実施), check (検証・評価), action (改善) の頭文字を取ったもの]  
行政政策や企業の事業活動にあたって計画から見直しまでを一貫して行い、さらにそれを次の計画・事業にいかそうという考え方。